ニカラグアの内政・外交・経済動向に係る動き（８月分）は以下のとおり。

【概要】

<内政・外交>

内政では、オルテガ大統領が、海軍、軍医記念式典に参加した。また、女性への暴力に対する法（第７７９号法）の改正に伴う大統領令を発出したが、その改正手続が違法であると批判の声があった。他方、政党活動では、２０１６年大統領選挙に向けたＰＬＣとＰＬＩは野党連合への動きが見られた。

外交では、コスタリカ国境に於けるＩＣＪ係争に関して、外務省はＩＣＪを通じ、コスタリカに国境沿いの道路工事を中止するよう求めた。また、コロンビアからは、ニカラグアがＩＣＪを通じて、大西洋岸の大陸棚の境界画定を訴えていることに関して、ＩＣＪは、本事案への管轄権がない旨の主張がなされた。その他、オルテガ大統領は、ホンジュラス、エルサルバドル両大統領とともに、三カ国首脳会合を実施し、フォンセカ湾の開発について協議した。

<経済>

　ニカラグア国土地理院は、主要農産品の収穫に影響している干魃が、本年９月中旬～１０月まで継続すると発表した。干魃により、農業セクターが伸び悩む一方で、両大洋間運河建設プロジェクト及びトゥマリン水力発電所建設計画は新たな展開が見られ、運河計画については国勢調査が開始され、水力発電所については明年第一四半期より建設を開始することを決定した。また、３０日には、日本の無償資金協力により完成した、国内最長となるサンタフェ橋の開通式が行われ、今後、同橋の南方９ｋｍ地点にあるコスタリカ側の国境施設の整備及び同橋を利用した両国間の物流が本格的に始動することが期待される。

１　主要な動き

（１）政治

ア　フォンセカ湾開発に関する三カ国首脳会合

　２５日、ニカラグア、エルサルバドル及びホンジュラスの大統領は、マナグアにおいて、フォンセカ湾開発に関する会合を行った。本会合において、３首脳は、「フォンセカ湾に関する３カ国共同宣言」に署名するとともに、３カ国間のフェリー運航をより充実させる計画やフォンセカ湾の観光地域としての活用可能性を検討すること等を決定した。しかし、計画実行の期限や具体的な資金調達方法については言及されなかった。

イ　女性の暴力に対する法（第７７９号法）

　７月３１日に発出された女性への暴力に対する法（第７７９号法）の改正に伴う大統領令は、憲法規定に則っていないことから、同改正に対して、女性支援団体やカトリック教会から批判の声があがり、デモ活動が行われた。このような非合憲的な大統領令の発出は、オルテガ大統領の権威主義的な政治スタイルを明確にしたが、他方で、同大統領への反感の声も多く、今後、オルテガ政権への批判を拡大させるきっかけにもなり得る。

（２）経済

ア　２０１４年のニカラグア経済

　９日、ニカラグア中央銀行は、２０１４年上半期経済及び今後の予測を発表した。上半期は工業、農業、畜産業、林業、漁業の伸びにより、経済成長率は５．３％となった。しかし、第２四半期の月間経済活動指標は、経済成長が継続することを示しているものの、建設業の伸び悩みと本年４月の地震被害が影響し、成長は鈍化すると見られる。さらに、農産品における干ばつの影響もあり、下半期は経済活動の成長リズムが低下するとともに、基本農産品価格が上昇すると予想されることから、中銀は、２０１４年の経済成長率予測を、４．０～４．５％、インフレ率を６．５～７．５％に修正した。

イ　２０１４年度補正予算案の可決

２８日、国会は、賛成６４票で、歳入３，０７７．５百万コルドバ（約１１８百万ドル）、歳出１,０４２．２百万コルドバ（約４０百万ドル）減とする２０１４年度補正予算案を可決した。これにより、２０１４年度の歳出の最高額は５５，０００百万コルドバ（約２，１１５百万ドル）から、５４，０００百万コルドバ（約２，０７７百万ドル）に改められた。多くの野党議員は、今次承認は、教育及び医療分野に多大な影響を及ぼす予算削減であり、ニカラグアの貧困削減のために優先すべき脆弱なセクターを苦しめることになるとして、補正予算への疑義を呈した。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2014年** | | | **2013年** | **2012年** |
| **8月** | **7月** | **6月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 6.7% | 6.9% | 6.1% | 7.9% | 6.0% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | △222.9 | △2792.3 | △2,740.7 |
| **輸出（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 237.7 | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 460.6 | 5,193.0 | 5,418.1 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 92.6 | 88.4 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2156.3 | 2,032.2 | 2,086.8 | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

３　その他

ニカラグアの治安

ギャラップ社の「法と秩序指数２０１３」（地元警察への信頼、個人の安全、盗難被害経験の自己申告を基に算出）によると、ラテンアメリカ・カリブ地域の治安指数は、全世界で最低となったものの、地域内で比較すると、ニカラグアは６７ポイント（１００ポイント中）と、２００９年度の調査から９ポイント伸び、パナマと並ぶ１位となった。また、UNDPの地域別人間開発報告書２０１３－２０１４では、ニカラグアの殺人件数は、１０万人中１２人と比較的少ないことを報告している。一方で、強盗・盗難率は、パナマやグアテマラよりも高く、暴力事件は中米で最も多く、引き続き、治安の改善への努力が求められる。

２　クロノロジー

（１）内政

８日　グラナダ県のＰＬＣとＰＬＩは、野党連合に向け合意。

１３日　オルテガ大統領は、ニカラグア海軍３４周年式典に参加。

２４日　カラソ県のＰＬＣとＰＬＩは、野党連合に向け合意。

２８日　北部大西洋岸自治地域ボナンサ市において２９名の鉱山労働者が生き埋めとなる事故が発生（２２名は無事救出）。

（２）外交

　４日　外務省は、コスタリカと係争中であるサンファン河沿いの道路建設に関し、同河の汚染調査報告書をＩＣＪに提出。

　５日　米国政府が、ニカラグア海軍に対し、２隻の高速艇を贈与（累計８隻）。

　８日　アルネスト・アルム在韓国ニカラグア大使が、パク・クネ大統領に信任状を捧呈（於：ソウル）。

　　　　ハレスレーベンス副大統領が、サントス・コロンビア大統領就任式に出席（於：ボゴタ）。

１４日　コロンビアは、客年９月、ニカラグアが大陸棚画定のために提出した情報を、ＩＣＪに管轄外として却下するよう要求。

２５日　オルテガ大統領は、マドゥロ・ベネズエラ大統領と電話会談を行い、社会主義指導者養成学校をベネズエラに設立する旨合意。

　　　　オルテガ大統領は、エルナンデス・ホンジュラス大統領及びサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領と会談（於：マナグア）。

２６日　オルテガ大統領が、王金平台湾立法院長と会談（於：マナグア）。

（３）経済

４日　当地米国大使館が、「米国市民の土地所有権」に関するウェイバーの付与を発表。

２１日　当地台湾大使館がEXPO台湾を開催（２４日まで）。

２３日　オルテガ大統領は、ブラジル企業CHN社とトゥマリン水力発電所建設計画の新たな合意文書に署名。

２７日　HKND社は、運河建設に向けた国勢調査、不動産評価、移転補償の準備作業を開始した旨のプレスリリースを発出。

２８日　国会が２０１４年度補正予算案を可決。

３０日　運輸インフラ省が、日本の無償資金協力で建設されたサンタフェ橋の開通式を実施。(了)